

鶏舎の飼養管理に太陽光発電の電気を活用



八木農場の太陽光発電設備
(電力を自家利用)



八木農場の鶏舎内の様子
(電力を自家利用)

＜概要＞

- ・事業実施主体：株式会社青森ポトリー（青森県階上町）
- ・発電設備：太陽光発電
- ・発電出力：①八木農場150kW（自家利用）（岩手県洋野町）
②階上ソーラーファーム1,500kW（売電）（青森県階上町）
③洋野ソーラーファーム1,500kW（売電）（岩手県洋野町）
- ・建設費：①1.15億円、②5.1億円、③6.7億円
- ・運転開始時期：①平成23年3月、②平成25年2月、③平成25年8月

＜特徴＞

- ・環境影響への配慮、養鶏事業の電気料金の節減や自社農場の遊休地の有効活用のため、固定価格買取制度開始前から太陽光発電に取り組む。（八木農場）
- ・発電した電気は同一構内の養鶏場で自家利用し、全電力消費量の20%程度を賄っている。
- ・固定価格買取制度開始（平成24年）以降には発電設備を増設して、売電を開始。（階上・洋野ソーラーファーム）
- ・売電収益は経営安定化に資するとともに、養鶏施設の保全修理にも活用。
- ・養鶏業の省エネ、省コスト化を実現し、売電収益による事業への設備投資や拡大が実現できている。
- ・こまめにメンテナンス等を行っており、安定的な発電量確保に努めている。

太陽光エネルギー利用推進事業(H22)

農山漁村再生可能エネルギー供給モデル早期確立事業(H24)（ともに、農林水産省事業）を活用